

「生活のしづらさなどに関する調査」を行います

(全国在宅障害児・者等実態調査)

11月 日ごろ 調査員がご自宅にうかがいます

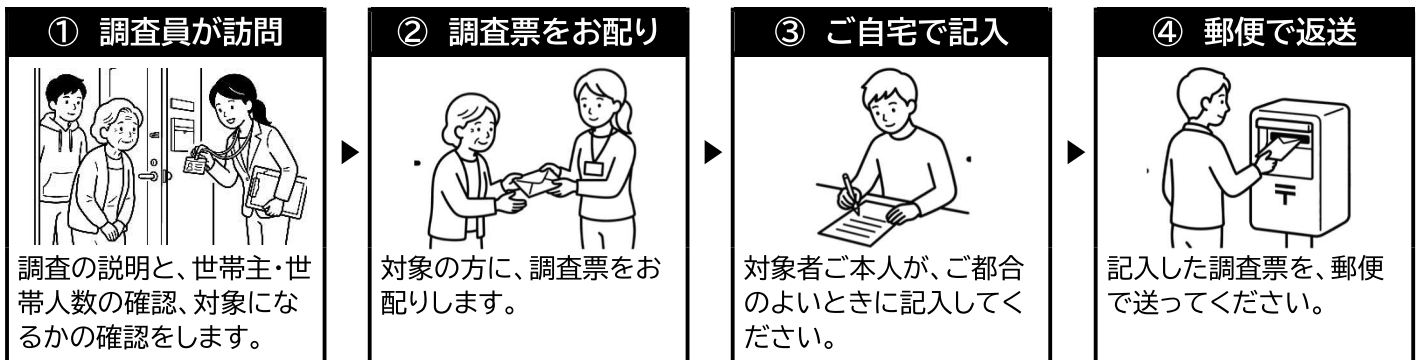
ご協力をお願いします



この調査について

- 国(厚生労働省)が行う調査です。
- 障害のある方や、病気・けがなどで生活にしづらさがある方の暮らしを知り、福祉をよりよくするために使われます。
- 令和8年11月1日現在のことについてうかがいます。
- 調査の対象となる方は、うら面を見てください。

調査の流れ



※①で対象の方(うら面)がいなければ調査終了となり、②より後の調査は行いません。

安心してご協力ください

- ✓ 調査票には個人がわかる質問はありません。
- ✓ 調査員は、県交付の「調査員証」を必ず見せます。
- ✓ 答えた内容は、統計以外には使いません。
- ✓ 回答は自由です。答えなくても不利益はありません。

もっと詳しく知りたい

宇部市公式サイトからウェブ番号「1030794」で検索するか、二次元コード➡から確認できます。



訪問をお断りしたいとき・お問い合わせ

訪問をお断りになる場合は、11月 日までに^{れんらく}ご連絡ください。

【宇部市 ^{しょうがいふくし} 障害福祉課】

☎ 0836-34-8456 FAX 0836-22-6052

受付:平日 8:30~17:15

ネットからでも
連絡できます。



うら面につづきます ▶

この調査の対象となる方

次の ①～③のどれか にあてはまる方が対象です。

①	障害者手帳(身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳)をお持ちの方
②	難病と診断されたことがある方
③	①②にはあてはまらないが、発達障害のある方や、慢性疾患など長引く病気やけがで、日常生活にしづらさがある方

手帳を持っていなくても、次のような方は対象です

(1 つでもあてはまれば対象です)

 ☐ 医療的ケア 毎日、医療的ケア(人工呼吸器、経管栄養、 たんの吸引、導尿、酸素療法など)が必要	 ☐ 子ども(18歳未満) 発達の様子などから、特別支援教育や特別な配慮などが必要
 ☐ 見る めがねなどを使っても、見えにくい	 ☐ 聞く 会話を聞き間違えたり、聞き取りにくいと感じたりする
 ☐ 歩く 歩いたり、階段を上ったりするのがむずかしい	 ☐ 覚える 思い出したり、集中したりするのがむずかしい
 ☐ 身の回り お風呂に入る、服を着るなどを、一人でするのがむずかしい	 ☐ 伝える 考えや気持ちを伝えたり、相手の話を理解したりするのがむずかしい
 ☐ 持ち上げる 2 リットルのペットボトルを、腰から目の高さまで持ち上げるのがむずかしい	 ☐ 手先 ボタンや鉛筆など小さな物をつまむ、びんのふたを開け閉めするのがむずかしい
 ☐ 気持ち 心配・緊張・不安を感じたり、気分が落ち込んだりすることがある	☐ その他 ・・・ 心や体の不調で、日常生活にしづらさがある

対象になるかわからない方、書くのが難しい方も、ご安心ください。

- ✓ 訪問した調査員が、対象になるかを一緒に確認します。
- ✓ 点字、手話、要約筆記、代筆などの支援を行います。 ※事前にご連絡いただけると助かります。

お問い合わせ:宇部市 障害福祉課 ☎ 0836-34-8456 FAX 0836-22-6052